

19m07  
教育方法論m

# 班別討議



# 1授業をデザインすること



# 全体発表

## 教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

### 各班ワークシート複数資料用(まとめ)

#### 1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業をデザインすること)

#### ■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (自分のクラスの子どもたちの実態に基づいて、  
何をどう教えるかを考える)

授業は

- 「教材の持っている本質」
- 「教師のわかっているもの」
- 「子どもたちの思考・感じ方・考え方」

の3つの関係の中に成立する

教師・子ども・教材 それぞれの間に「衝突」や「葛藤」が生じるような緊張関係をもった授業がよい。

子どもの状況に対応する柔軟さも必要

#### ■肯定的 web (学習指導要領)

まとめ ( )

- 生徒、学校、地域の実態に適切に
- 把握することを目指す

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

大学院における科目授業デザイン

#### ■否定的 web (研究) の構想

まとめ ( )

- 子どもの学習状況
- 教師の学習指導
- 教材・教具
- 学習指導案の検討

4つの観点から授業をデザインすべき

#### ■班としての要約

まとめ ( )

- 教師と子どもたちという対面の関係だけでなく
- 教材や地域との関係性も考慮に入れる

一番考慮しなきゃいけないのは子ども

なのではないか?

子どもの状況に応じて適宜変えていかな

いけない

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
授業	教材	本質	教師
子どもたち	思考	感じ方	考え方
関係	衝突	葛藤	緊張関係
状況	柔軟	地域	学校
把握			

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業をデザインすること)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ 授業の目的を明確にする。

○ マニュアルに沿った授業(になりがら)

○ 教材を教えるのではなく、教材を扱っていることがある。

○ 一方的に上から教える教えるだけの授業

■肯定的 web (自分の授業をデザイン)

まとめ (授業が平素になりがら)

○ 自分のニュースなどから最新のテーマをネット上の

○ 難しい内容なら身近な話題から導入する。

■否定的 web (自分の授業をデザイン)

まとめ (「百科事典の授業」)

○ ただ教材を使うだけ、読み上げるだけの  
平坦な授業。

○ 教科書のテーマは少し古いことに注意  
(今はどうなっているのか?)

■班としての要約

まとめ (柔軟さのある授業)

・ 生徒の状況にお柔軟に対応できるように

・ 教師もどう教材とどう向きあうか

・ 生徒も意見できる柔軟な授業

(Xタイプとして)

キーワード 10~20語 明日中に 概念系統図

・ デザイン ・ 視覚的教材 ・ 授業構成

・ マニュアル ・ Xタイプ教育

・ 教材 ・ ニュース

・ 教科書 ・ 教材研究

・ 教育機器 ・ 授業目的

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取

## 2教科内容と子どもの学び



# 教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

## 各班ワークシート複数資料用(まとめ)

### 1) (班内) まとめ

班のテーマ (教科内容を子どもの学び)

#### ■ テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (

・ 科学の成果を子どもたちに系統的に教える → ?

↓  
教科内容論の見直し

・ 177プログラムではなくポトムプログラム

・ 段階カリキュラム → 登山型カリキュラム

・ 教科内容論的アプローチと社会文化的アプローチ  
バランスが重要

・ アクティブラーニングには教師の覚悟が必要

・ 教員だけでいはいない

#### ■ 肯定的 web (

まとめ (アクティブラーニング)

・ 立命館高校

(6-8月のグループ学習)

#### ■ 否定的 web (

まとめ (



#### ■ 班としての要約

まとめ (

・ 教育においてこの対立する考え方は、バランスが重要

・ 教師が一番の充実感を感じていないといけな

・ 形式的、体系的に教えるベスト

・ アクティブラーニングは、力がなかつたら、逆効果

キーワード 10~20語 明日中に 概念系統図

・ 系統的 教科内容論的 知識創造

・ 教科内容 社会文化的

・ 177プログラム アクティブラーニング

・ 段階型 研究

・ 登山型 知識伝達

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (教科内容と子どもの学び)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (教科内容に授業デザインに切り  
重要できる)

- ・近年では、今本当に学習者に必要で知識
- ・「何から」という観点から、教科内容論の  
見直しが必要
- ・新しい「伝達型」では思考力や判断力  
表現力を身に付けることが困難で「学び  
知識創造型」の学びが必要

■肯定的 web (教科毎のメリット)

まとめ (アクティブラーニングのメリット)

- ・算数では教科書を教えておくと
- ・教科内容を教えておくこと
- ・本能的に学ぶことと段階的に  
学ぶことが出来る

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取  
り組みについて感じたことをのべよ

■否定的 web (教科毎のデメリット)

まとめ (アクティブラーニングのデメリット)

- ・国語は教科書を教えておく必要
- ・教科内容を教えておくこと
- ・全ての教育内容を決定すると、  
授業数が増える
- ・「アクティブラーニング」をしっかりと  
時間が必要

■班としての要約

まとめ (これからの方針)

- ・教員養成にできる方法の見直し
- ・従来の学びを生かした教科の提案
- 伝達型は、今でも「意味」の無から「意味」  
を挿入する
- ・教科内容を限定的にしすぎると、  
子どもへの負担が大きくなる
- ・実践的指導力を身に付けるには、経験の  
キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図  
・教科内容 型 型カリキュラム 主 主体的 知 の喜び  
・教科内容 知識 カリキュラム 知 の喜び 知的 好奇心  
・知識 伝達型 教科内容論 実践的 指導力 教材 者  
・知識 創造型 社会的 文化的 プログラ 型 学問的 知識  
・段階 型カリキュラム 二元 論 学び の共同体 教師 自身が  
も学ぶ

# 3対話的・共同的な学びのために



# 教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

## 各班ワークシート複数資料用(まとめ)

### 1) (班内) まとめ

班のテーマ (対話的・共同的な学びの  
のために)

#### ■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ( )

- ・ 学びの旧字は「學」(かく)であり、字源的には
- ・ ある空間の中で子どもたちが相互に変わりながら
- ・ 大人の手を借りて成長するという意味。
- ・ 勉強にはどちらにも無理をノセる意味がある。
- ・ 学びは対話的・共同的、勉強は個人的・排他的。
- ・ 2人で両者の間に考え方のズレがあれば対話が起きず
- ・ ズレの中に学びの可能性を見出す。

~~アプロプリエーション~~ 他の方の考えが自分の考えの中に  
アプロプリエーション 取り込まれる

#### ■肯定的 web (日本協同教育学会)

まとめ ( )

- ・ 小集団を活用した学び合いを取り入れるのが
- ・ 個人化する指導に代わるのでは。
- ・ 他と異なるからこそ問題解決を図る能力は
- ・ 今後の社会に必要 ← アクティブラーニング

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

#### ■否定的 web ( )

まとめ ( )

- ・
- ・
- ・

#### ■班としての要約

まとめ ( )

- ・ 対話的・共同的な授業は大事
- ・
- ・

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・ 学び	・ 個人的	・	・
・ 勉強	・ 排他的	・	・
・ 強いる	・ ズレ	・	・
・ 対話的	・ アプロプリエーション	・	・
・ 共同的	・ 他の方	・	・

# 教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

## 各班ワークシート複数資料用(まとめ)

### 1) (班内) まとめ

班のテーマ (対話的・協同的など)  
学び合いのために

#### ■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (アプロプリエーションとしての学び)

日本の子どもは学ばない  
 ・国際学習到達度評価学会  
 ・OECD生徒の学習到達度調査 (PIISA)

自身と他者との対話から  
 認識のズレ

「アプロプリエーション」  
 子どもたちが言葉を利用して学び

#### ■肯定的 web ( )

まとめ ( )

- ・対話的・主体的を行う
- ・「学び」にするため、それが行える
- ・学校・環境づくり

「学び」… 自発的, 知識的, 好奇心

「勉強」… 強制的, 外発的, 排他的

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべ

#### ■否定的 web ( )

まとめ ( )

- ・現状… 対話的授業を活かすのではなく、目標としている

#### ■班としての要約

まとめ ( )

- ・自身と他者の話し合いから
- ・「学び」を行い、自身の能力を向上させる

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・ 学び	・ 自発的	・ 全内得	・ 自分の能力
・ 勉強	・ 自身	・ 共感	・ 対話的
・ 対話的	・ 他者	・ 葛藤	・ 強制的
・ 協同的	・ 「出来事」のズレ	・ 対立	・ 外発的
・ 学び合いの選択	・ アプロプリエーション	・ 体尊	・ 排他的

# 全体発表 (ICT活用例)



各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ  
 班のテーマ ( 数学 I )

■ 学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

- ・ 1 学年
- ・ 数学 I
- ・ 二次関数 (geogebra)

■ 目標、内容・指導の概略等

- ・ 最大・最小値の理解
- ・ モデル化した式のグラフ化
- ・ geogebra の利用
- ・ 班は自分で考えさせる

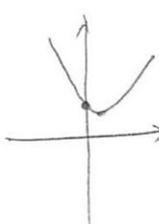
2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ 教材・板書計画、評価の観点・規準等

$$f(x) = ax^2 + bx + c$$

$$= a \left( x + \frac{b}{2a} \right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a}$$

geogebra



$f(x) = ax^2 + bx + c$

a	-5	→	0	5
b	-5	→	0	5

■ 工夫した点、出典等

- ・ グラフの入力時間の短縮
- ・ 数値の変数化
- ・ 変数を変えて、どのような変化が起きるかを観察

4\*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを 3 つ取

# 教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

## 各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICTの活用)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

高校・1~3年生

単元: 化学

スクリー: orテレビ, タブレット, PC etc...

## ■目標、内容・指導の概略等

近年、テレビ・コースでもよく取りあげられているように大学の入試制度が大きく変化している。

各教科においてもさまざまな内容が盛り込まれるが、化学においては、計算や知識を使った問題、(加えて実験ベースでの実践的)思考を問われるようになっている。

そこで、これまで多く実験にふれて、思考的なものを扱ったものを

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

## ■教材・板書計画、評価の観点・規準等

プログラマーに動画をうつして、実験内容を理解してもらう  
→ そのあとに確認: ポリトマ、化学反応  
実験入試問題と子供達に読んでもらう  
ことで、どれだけ理解しているかをはかる

## ■工夫した点、出典等

工夫した点

→ 今の時代の教育の風潮に合わせるには自前としたこと

出典

→ <http://www.jstage.jst.go.jp>

○ <https://www.yozemii.ac.jp>

4\*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを3つ取り出す

# 全体発表(確認問題5)



各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ  
各問のポイント

■問 1

- ・ つまひいて子どもたちに積極的に回復学習に取り組む
- ・ 子どもたちを励まし、学び合いを推進める
- ・ どのような学力が形成されたのかを明らかにする
- ・ 本来の「教育評価」の復権

■問 2

子どもたち、到達状況、過程、情報、調整、モニタリング、知識、活動、形成、生涯学習

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと  
思ったことをのべよ。

■問 3

「パフォーマンス評価」とは子どもたちが知識を  
実際の世界にどの程度うまく活用させているのかを測るものである。

■問 4

「ルーブリック」とは評定尺度とその内容を  
言記述する指標から成り立っていて、「評価指  
針」と訳される場合が多い  
指導と学習にとって具体的な到達点の  
確認と次のステップへの指針となる。

2\*\*) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り  
組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ

各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ  
各問のポイント

■問 1

- ・学力の保障をつける
- ・学習における共同の条件性がある
- ・どのような学力が形成されたのかを明らかにする
- ・本来の教育評価の優権を目指そうとする

■問 2

- ・子どもたち、到達状況、過程
- ・情報、調整、モニタリング
- ・知識、活動、形成
- ・生涯学習

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと  
思ったことをのべよ。

■ 発表者へのアドバイス

■問 3

- ・子どもたちが知識を実際の世界に  
どの程度うまく活用させているのかを  
測るもの

■問 4

- ルーブリック
- ・評定尺度とその内容を記述する指標  
から成り立っているもの
- ・学習課題に対する子どもたちの認識  
活動の質的転換点を基準として段階的  
に設定され、指導と学習によって具体的な  
到達点の確認と次のステップへの指針

2\*\*) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り  
組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ